

## 令和6年度 循環型社会を実現する環境教育推進事業 事業実績書

### 【高千穂町立岩戸小学校】

#### 1 活動の概要

- 児童の SDGsに対する知識と理解を深め、環境への配慮や行動を行おうとする態度を醸成する活動を行った。
- 学年間での共同活動・共同学習等を積極的に行つた。

#### 2 SDGs の視点

「9 産業と技術革新の基盤をつくろう」「11 住み続けられるまちづくりを」「12 つくる責任つかう責任」「15 陸の豊かさも守ろう」

事業の実施時期：補助を受けた日から令和 7 年2月28日

#### 1 学校の概要

本校は、高千穂町中心部から約8キロメートル程北東の古祖母山を望む自然豊かな地帯に位置し、本年度で創立150年目を迎える長い歴史と伝統のある学校である。

本年度は、150周年記念式典を軸に児童、教職員、保護者、地域の方々が関わり合うことによりさらに協力的・協働的な風土ができあがった。本校は校長が率先して緑化活動を行っており、児童・職員に指導・助言をしながら全校で緑化への意識を高めている。

#### 2 活動のねらい

本校の児童は、SDGs という言葉を聞いたことはあるが実践している実感をもつことができていない実態があった。そこで SDGs や 4R について改めて学び直し、教育活動の中すでに取り組んでいることや以前取り組んでいたことなどに目を向けて、環境保全・改善への貢献を意欲的に行おうとする態度を育むことを指導目標の一つとした。また、環境教育を通して児童自らが創意工夫し、それらを認めたり広げたりすることで、本校が目指す「自ら考え、正しく判断し、豊かな人間性をもち、たくましく生きる児童」の育成を図つていった。

さらに全校児童どうしが日頃からよく関わり合っているということを生かした合同の作業や学習を取り入れ環境意識の底上げを図つた。

#### 3 活動内容

##### (1) 緑化活動

本校は年間を通して、校長と緑化担当職員を中心に全校で緑化活動に取り組んでいる。「SDGs 15 陸の豊かさも守ろう」を基本方針とし、以下の活動を行ってきた。

###### ① 腐葉土づくり

秋から冬にかけて、本校の大木が大量の葉を落とす。その落ち葉と枝、木の実等を分別し、その落ち葉をためておく場所がある。それを定期的に混ぜ込み、栄養価の高い土をつくっていく。それらを春先に学級園の土として土に混ぜ込んでいく。



###### ② 移植作業

季節によって花々を楽しんでほしいという思いから、校長が種から芽吹かせ、葉が出始めるとポットに移植していくその後生長した苗を花壇等に植え、水やりや雑草抜きなどの世話をすることで緑化への意識を高めさせた。



### ③ 職員研修

職員の緑化意識を向上させるために研修を行った。式典を彩る花々を自分たちの手で育てるために、種の植え方や選び方、水まきの目安、育てるのに適した場所等を学ぶことができた。



### (2) 田植え

本校の5年生は、総合的な学習の時間で近くの田んぼを借りて苗植え、稻刈り、脱穀、精米までを学習していく。



米づくりの流れを体験的に学ぶことで、日頃食べている白米のありがたみを感じる機会となった。

### (3) EM 菌づくり

本校は高千穂町商工会女性部の協力を得て毎年EM菌づくり、発酵、投入を行っている。EM菌という細菌と黒蜜、麹を混ぜ、2週間程度発酵させると植物の肥料や水の浄化剤として使うことができる。5・6年生がそれぞれ指導を受け、プール清掃の際に活用している。



### (4) リズムワークショップ

本年度の150周年記念事業として、式典の他にプロのアーティストと身近にある廃材で楽器製作を行った。「SDGs 12つくる責任つくる責任」のテーマのもと、元ブルーハーツのドラマー梶原氏を招き、各家庭のゴミ箱等を使って手作りの太鼓を製作し、協奏した。



### (5) 環境教育講座

各学年の発達段階を考慮し、内容と講師を準備して別日に環境教育講座を実施した。

#### ① SDGsに関する講話

本校の課題としてSDGsがなぜ世界で目標として掲げられているのか、そもそもどのような取組目標なのかという理解が足りていないことが挙げられる。そこで、株式会社シンクオブアザーズの難波裕扶子氏を招いて講話をに行っていただいた。対象は4年生から6年生。



#### ② 4Rに関する講話

宮崎県環境情報センターに依頼し、1・2年生を対象に4Rについて出前講座を行っていただいた。紙芝居やプレゼンを使って視覚的に用語の説明をしたり、牛乳パックで工作をしていただいたりして分かりやすく教えていただいた。



## (6) 食育指導

食育については給食や家庭科の時間に年間を通して行っているが、より専門的な指導の必要性を感じていた。「2 飢餓をゼロに」「12つくる責任つかう責任」「14 海の豊かさを守ろう」「15 陸の豊かさも守ろう」など様々な項目とリンクする部分である。高千穂小学校の栄養教諭大原美智代氏を招いてなじみのある弁当にフォーカスし、栄養面や必要な力口りー量などの指導をいただいた。



## (7) あまたらす館花贈呈

天岩戸神社のメイン通りに面する「あまたらす館」へ全校で世話をした花をプレゼントした。それらの花を施設前や施設内に飾っていただき、花を育てるよさを児童に感じさせることができた。



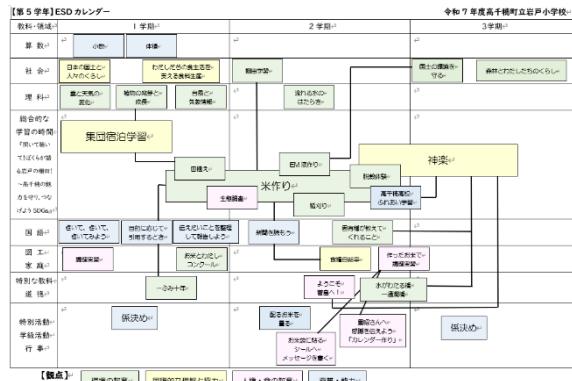
## (8) 旭化成延岡展示センター見学

近隣地域の日本を代表する地元企業である旭化成の成り立ちや取組を知ることで環境についての意識を高めることを図り、展示センター見学を行った。第3学年～第6学年で見学し、学んだことをまとめることができた。



## (9) ESD カレンダー作り

SDGs の観点を各学年、各教科、特別活動等にリンクさせて視覚化するために ESD カレンダーを全学年作成し、来年度から実践と反省を行うことで、さらに年度を重ねるごとに内容のブラッシュアップを図っていく。



【第5学年の ESD カレンダー】

## 4 成果と課題

### (1) 成果

1年間を通して、環境について考える機会が何度も出てきたことで、児童の中で環境問題がより身近なこと、そして自分事として積極的に取り組むべきことだと感じる児童が増えてきた。特に年間の学習で印象に残ったこととして、環境教育講座を挙げる児童がいたり、何気ないときに環境問題を挙げると「自分だったらこうしたい」と自分の考えを具体的に発言したりする姿が見られた。また、普段の教育活動が予想以上に環境教育とつながっていたことに職員が気付くことができた。

### (2) 課題

今年度は補助金を使って講師を招いたり町外施設の見学に行ったりと積極的に環境教育に取り組むことができたが、次年度からは質・頻度ともに実施することが難しく、単発で終わってしまう可能性がある。

学校名：高千穂町立岩戸小学校

住所：高千穂町大字岩戸 1076 番地 1

電話番号：(0982) 74-8204

E-mail：iwato-e-s@miyazaki-c.ed.jp